

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を受けられる患者様へ～入院診療計画書～

泌-5.14-1

氏名		様		病名:		症状:		平成 年 月 日				
経過	 入院時 手術前日		手術 手術には 時 分にいきます						 退院日			
			手術当日				術後1日目		術後2～3日			
月 日			手術前		手術後				退院日は患者様によって異なります			
目標	不安なく手術を受けられるようゆっくり休みましょう 心配事や眠れないときは早めに看護師に知らせましょう		管のいずさや痛み吐き気等つらい症状があるときはすぐ 看護師に知らせましょう 歩行許可が出たらがんばって歩きましょう				管を抜いた後、血尿や変だなと感じたら早めにお知らせ下さい					
食事	 ご飯はたべられます		 朝昼食べられません		 看護師が麻酔が覚めたのを確認後飲水から始めます		 水分は多めに摂るよう心がけましょう					
安静度	 安静度は自由です		手術室には歩いて行きます。歩けない方は移送車で行きます。		 ベッド上安静		午前中の回診で医師の許可ができれば歩行可					
排泄	 尿を溜める必要はありません		 状態を見て座薬をします		手術中に尿の管が入ります。 また、管の閉塞を防ぐため洗浄する場合があります 		血尿の状態をみて午前中の回診で尿の管を抜きます。管を抜いた後の1回目の尿はカップにとって見せて下さい。翌日退院です。					
清潔	 入浴しましょう		安静のため入浴はできません		身体を拭きます		シャワー浴出来ます					
内服薬 点滴	 内服薬を確認します		 薬剤師より薬について説明があります		時常用薬を飲みます 時頃点滴をします		★手術中抗生物質の点滴をします ★痛い時は痛み止めの注射や坐薬をします 痛い時は我慢せず申し出て下さい ★食事が開始になると内服薬も開始します。		★常用薬(抗凝固剤)は医師の指示で再開になります 		退院時服薬指導(薬剤師) 	
	時以降食べられません		時以降水分はとらないでください									
検査					酸素吸入をします 心電図モニターを装着します							
説明・指導	 入院、手術の流れを説明します  麻酔科医による麻酔説明があります		特別な栄養管理の必要性 (有) ・ 無		 注意 〈手術室へ行く前に〉 貴重品は家族又は金庫に保管して下さい 眼鏡、入れ歯、指輪、カツラ等ははずします(補聴器はつけたままで行きます) 御家族の方は手術中病棟内でお待ち下さい		術後説明		退院後の治療について説明します 組織の結果は外来でお話します			
備考	 何かわからないことがある時はいつでも申し出て下さい		《手術に必要な物》 平オムツ2～3枚 T字帯1枚		主治医 看護師: 主治医以外の担当者 薬剤師: 栄養士:		旭川赤十字病院3階きた病棟					